

# 桃の花二種

及川ふみ

## 菱皿

一、萌黄色のラシヤ紙に第一圖の様に形をこつて、菱皿をつくる。

イの部分と同じ符合のイの中にさしこむ、ロハニの符號もそれ／＼同じ様にする、桃色の伊豫証が模造で桃の花の形を任意にきりぬきて箱の周圍に適當にはりつける。

二、畫用紙に第二圖の様に謄寫しておいて桃の花を桃色にしへは黄色か茶色に、地色はみどり色にぬる。

お皿の内部はみどり色の模造紙をはる。

このお皿はお節句に飾つたお雛様のお皿にもなりますが幼児たちにわたるお菓子の入箱によいと思ひます。

## 屏風

一、畫用紙八ツ切に第三圖の様に謄寫して、太い幹は茶色に、細い枝はみどりに、桃の花は桃色に、それ／＼色をぬりて六曲の屏風にする。

二、黄色のラシヤ紙八ツ切に伊豫証紙で桃の枝をきりがみにして屏風にするのも亦一つのやり方であります。

圖 一 第

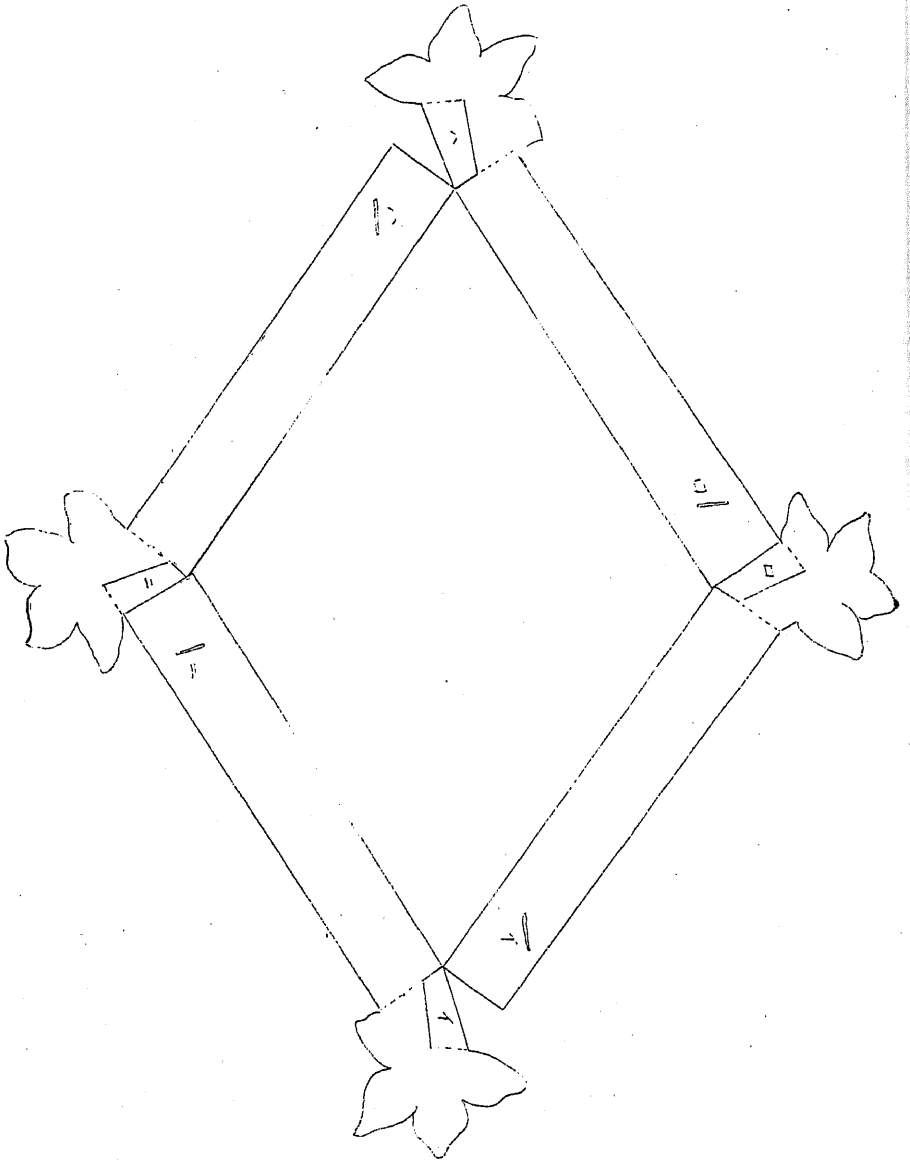


圖 二 第

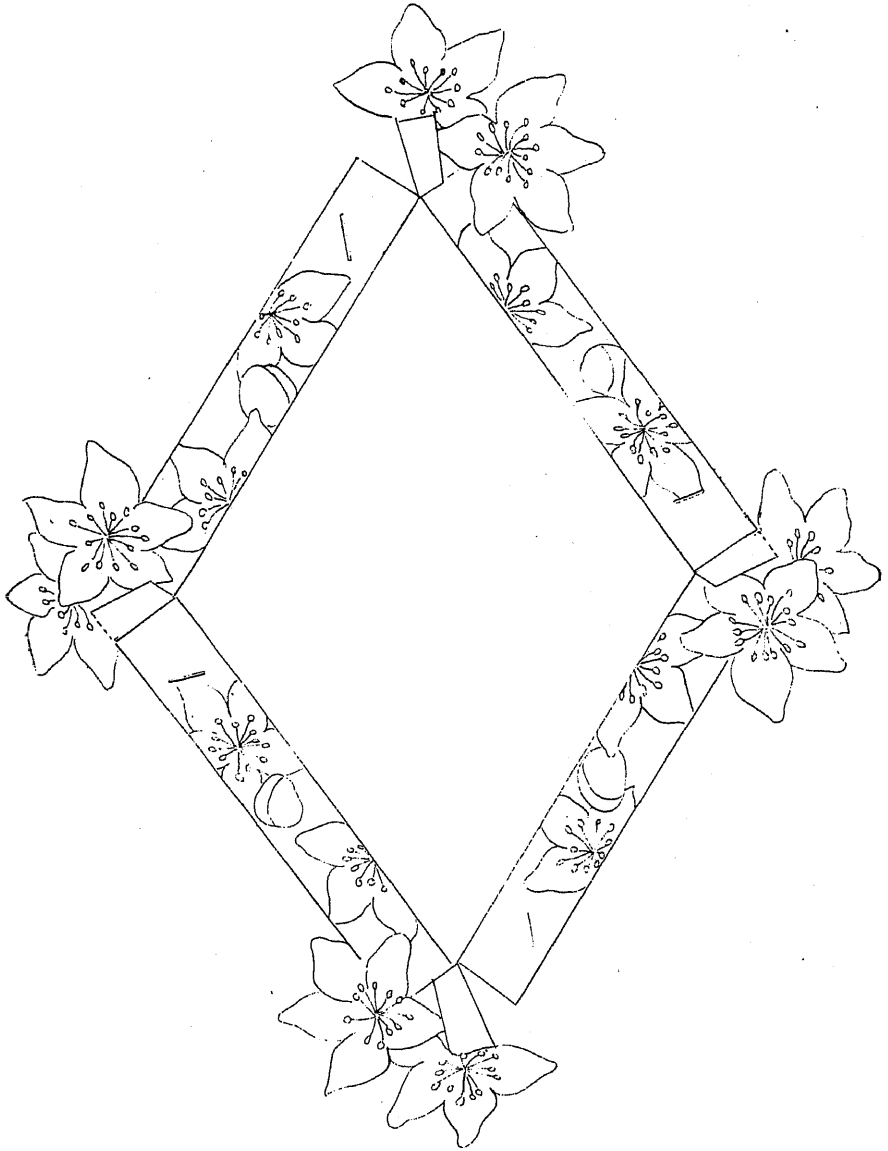


圖 三 第

